

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力

園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 平成28年1月8日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



伝えたいこと

新年あけましておめでとうございます。
今年のお正月は穏やかで温かく、冬本来の寒さを忘れてしまいそうですね。

平成28年申年が、子どもたち、そして皆様にとって、幸多き年となることを心から願っています。



園では、昨年末に子どもたちとお餅をつきました。多数の保護者の方がお手伝いしてくださり本当にありがとうございました。一年の無事に感謝するとともに、新たな年も幸せに過ごせますようにとの願いをこめて、お餅をつきました。

さて、昔から「晴れの日」にはお餅をついて、家族や地域の人たちと祝う習慣がありました。赤ちゃんが生まれた時や七五三などの祝いの時などにも気分を盛り上げる役割をしたそうです。お餅をついて楽しい気分になり、嬉しいことが長くつづきますようにとお祈りするのです。まず、最初の臼で鏡餅を作ります。丸い心でしなやかに、まるで自分の心を鏡に映して自省するかのようにと、「鏡餅」の所以です。

園の行事の中には、このように昔からの伝統行事を取り入れ、その心を子どもたちに伝える役割も担っています。各家庭でのお正月の過ごし方にも、それぞれ大事にされていることがあることでしょう。そうして自ずと子どもたちに伝わっていくのでしょうか。

三学期には生活発表会があります。日々の保育の延長線上に位置づけ、表現力や想像力、友だちとの創造力を発揮する場として設定しています。

また、三学期は次年度への準備ともなる、大切な学期です。どうぞ、ご協力をお願いします。

感染症の周知について

園での感染症等については、原則、校医(園医)と相談の上、保護者への周知や対応などを考えることになっています。

さて、今回の教育アンケートでは、「できたら早めに知らせてほしい」とのお声がありました。

については、お知らせする必要があると判断した場合、教室の外窓やバスの乗車扉に「お知らせ」として掲示しますのでご覧ください。

元気に登園できるよう、手洗い、うがい、十分な睡眠と栄養を、これまで以上にご配慮をお願いします。

また、欠席の場合、診察結果が出ましたら、ご連絡いただきますよう、ご協力ください。

「今」が「未来」につながる

子どもたちを取り巻く社会の変化は著しく、とまどいを隠せないのは私だけでしょうか。

ましてや、子どもたちが社会人となる頃は想像もつきません。確実にいえることは、「知識基盤社会」になり、求められる学力は、「何を知っているか」という知識量から「何ができるか」という創造力へと否応なしに転換が迫られているのです。

でも、それは小学校以降のことで、幼稚園には関係ないことと考えておられるかもしれません。

教育は「未来につながる」営みです。特に今日、幼児教育にはその後の学びの基礎を培う、極めて重要な時期にあると位置づけられています。

園では、「今」、豊かな遊びを通して「こころ・からだ・ことば」の力を育み、子どもが自信と学ぶ意欲をもって「小学校へ進学する」ことをめざしています。

早期教育を指すことではなく、幼児期の「今」を充実させて「未来」へつなぐことを意味しています。